

令和7年第4回川本町議会定例会

# 町長行政報告

川 本 町

## ■ 行政報告の主な内容（35項目） ■

### 諸般の事項

- ・ 合併70周年記念式典 1
- ・ 治水対策の推進 2
- ・ 女子野球で繋がるプロジェクト 3
- ・ 医療・介護・福祉サービスの強化 4
- ・ 令和8年度の予算編成方針 4

### 住み慣れた地域の暮らしが持続するまち

- ・ 地域公共交通の充実 5
- ・ 移住・交流の推進 6
- ・ 健康づくり 7
- ・ 公立邑智病院の本館棟建替 7
- ・ 物価高騰対策 7
- ・ 物価高騰対応定額減税調整給付金事業に係る  
不足額給付 8

### 暮らしを支える生業、地域資源を活かした産業が根 付くまち

- ・ 米の作柄 8
- ・ 担い手対策 9
- ・ 特産品の振興 9
- ・ 有害鳥獣対策 10
- ・ 観光の振興 10

- ・ 姉妹都市交流 11
- ・ 宿泊業立地可能性調査 11
- ・ 誘致企業との連携 12
- ・ (仮称) 河津桜公園の整備 12

## 子ども達の夢を育み、挑戦する人材が育つまち

- ・ 町立学校建設検討委員会 13
- ・ 学校教育 14
- ・ キャリア教育の推進 14
- ・ 2030国民スポーツ大会に向けた準備 15
- ・ 公民館活動 15
- ・ 社会体育 16
- ・ 文化振興 17
- ・ 島根中央高校の魅力化支援 17

## すべての住民が、安心して暮らせるまち

- ・ 簡易水道 19
- ・ し尿処理施設「志谷苑」基幹改良 19

## 効率的な行財政運営の推進

- ・ ふるさと納税 19
- ・ 広聴・広報 20
- ・ 地域情報化対策 20
- ・ 自治体情報システムの標準化・共通化への対応 21
- ・ 職員研修 22

令和7年第4回川本町議会定例会を招集いたしましたところ、議員の皆様には、万障お繰り合わせのうえ、ご出席を賜り、誠にありがとうございます。

開会にあたり、諸議案の説明に先立ちまして、諸般の事項についてご報告申し上げます。

(合併70周年記念式典)

はじめに、合併70周年記念式典について申し上げます。

10月8日に、悠邑ふるさと会館において、多くのご来賓や町民の皆様のご臨席のもと、盛大に記念式典を開催することができましたことを、あらためまして深く感謝申し上げます。

オープニングでは、昭和47年災害からの復興を契機に結成された江川太鼓同好会が、勇壮な和太鼓を披露し、続いて、エゴマの特産化、株式会社三協の進出、島根中央高校の部活動の活躍、さらに女子硬式野球クラブ「島根フィルティーズ」の始動など、この10年間の町の動きを映像で紹介しました。

式典では、町の発展にご尽力いただいた方々に、表彰状・感謝状を贈呈し、これまでのご功績を称えるとともに、深甚なる敬意と感謝の意を表しました。

合併70周年という節目にあたり、先人の献身的なご尽力や、国・県をはじめ多くの方々の温かいご支援のもとで、積み重ねてきた歴史に思いを馳せ、今後も、町民の皆様とともに、未来に向けて「挑戦」を続けていく決意を述べさせていただいたところです。

#### (治水対策の推進)

次に、治水対策の推進について申し上げます。

10月20日に、県及び県議会に対して、治水対策予算の確保などを掲げ、来年度に向けた重点要望を行いました。

また、11月4日には、町単独で浜田河川国道事務所へ、11月12日には、植田議長とともに国土交通省水管理・国土保全局中井次長へ要望いたしました。

とりわけ、川本堤防については、10月15日に松江市で開催された「中国地方治水大会」の意見発表の場で、今後のまちづくりにあたっては、その完成堤防化が必要不可欠である、と強く訴えたところです。

対策の進捗状況ですが、「瀬尻・久料谷」地区では、国事業として、久料谷川の付替え工事と、昨年度に引き続き護岸工事が行われております。

「谷」地区では、国事業として、造成に使用する土砂運搬路の検討が、県事業として、護岸・造成工事が行わ

れております。

引き続き、国・県、地元協議会の皆様と緊密に連携し、一刻も早く事業が完成するよう、取り組んでまいります。

(女子野球で繋がるプロジェクト)

次に、「女子野球で繋がるプロジェクト」について申し上げます。

本プロジェクトの中核である「島根フィルティーズ」は、中国・四国地方の社会人・大学・高校のチームで構成される「ルビー・リーグ」3部Bにおいて、見事優勝を果たし、初年度の目標として掲げた、リーグ優勝と来シーズンの2部昇格を呼び込みました。

11月16日には、全国のクラブチームや大学などで活躍している、県出身者や島根中央高校の卒業生、さらには、国内トップレベルの選手で編成された「ご縁の国ドリームズ」との合併70周年記念試合を開催したところ、町内外から、700人を超える多くの方々にご来場いただき、大いに盛り上がりました。

また、地域活動においては、町内事業者でのインターンや、一周駅伝、東京・近畿島根県人会へ参加し、年明け1月には「島根ふるさとフェア」への出店を予定するなど、町内外で活動の機会が広がっています。

引き続き、様々な取組を通じて、人材の還流や交流、

関係人口等の「新しい人の流れづくり」、さらには、企業版ふるさと納税の拡大等へも繋げられるよう進めてまいります。

(医療・介護・福祉サービスの強化)

次に、医療・介護・福祉サービスの強化について申し上げます。

社会医療法人仁寿会・加藤病院による「地域総合ヘルスケアステーションかわもと施設群」の新築移転整備の進捗率は、11月末時点で78%と伺っております。

引き続き、町として支援するとともに、町民の皆様が、主体的に健康づくりや介護予防に取り組むことができる仕組みづくりや、ニーズに沿った医療・介護サービスが提供できるよう連携を図ってまいります。

(令和8年度の予算編成方針)

次に、令和8年度の予算編成方針について申し上げます。

編成にあたっては、「第6次総合計画」に基づき、持続可能な税源涵養に資する、少子化対策や人づくり、新しい人の流れづくりをはじめとする人口減少対策等に取り組む必要があります。

そして、DXの推進などにより個性を生かした地域づ

くりに取り組むとともに、公共施設等総合管理計画に基づき、長寿命化対策等による適正管理を徹底する必要があります。

また、令和5年度から本格化した治水対策をはじめ、今後見込まれる大規模事業による財政負担を見据え、既存事業の見直しや廃止などによる、財源の確保をさらに行っていく必要があります。

こうした基本的な考え方のもと、総合計画に掲げた重点プロジェクトの目標達成に向けて、令和8年度予算を編成していくこととしております。

それでは、町行政の主な動きにつきまして、順次ご報告申し上げます。

まず、

「住み慣れた地域の暮らしが持続するまち」に関する動きについてであります。

#### (地域公共交通の充実)

はじめに、地域公共交通の充実について申し上げます。

9月から11月まで、矢谷・長原・市井原・谷・中倉・

日向の6つの地区を対象に行った、矢谷線デマンド乗合タクシー実証運行の利用者登録は、18名となりました。

今後は、利用実績や課題の分析を行い、来年度以降の運行に向けた制度設計や、運行エリア・対象者等の検討を深め、本町に適した地域公共交通体系の構築に向けた取組を進めてまいります。

### (移住・交流の推進)

次に、移住・交流の推進について申し上げます。

9月28日に、大阪で開催された、県主催の対面式のイベントでは、32件58名の移住相談を受けました。

また、県内高校卒業生還流促進事業により、スタッフとして参加を呼びかけた島根中央高校の卒業生が、9月の移住イベントに3名、11月のイベントに4名、イベント後の交流会に9名参加しました。

10月に町内で開催されたレールバイクイベントでは、卒業生が大学の同級生とともに自主企画を行うなど、交流の輪が広がっているところです。

今後も、各地で開催されるイベントでボランティアを募るなど、県外での出身者等との繋がりのお機会を組み合わせながら、UIターンや関係人口を呼び込む動きに繋げてまいります。

(健康づくり)

次に、健康づくりについて申し上げます。

11月16日に、晴天にも恵まれたなか、「川本北地区農業収穫きんさい祭」に併せて開催した、四季折々の町の魅力と運動の楽しさを感じていただく「かわもとウォーキング」には、大人18名、子ども2名の参加があり、爽やかな晩秋の三原路を満喫いただきました。

(公立邑智病院の本館棟建替)

次に、公立邑智病院の本館棟建替について申し上げます。

昨年度の新本館棟の竣工後、新館棟及び別棟の改修工事、旧本館棟の解体工事が行われ、12月26日までを工期として、現在進められている駐車場整備が終わると、令和4年11月に起工した一連の工事が完了する予定となっております。

(物価高騰対策)

次に、物価高騰対策について申し上げます。

国の臨時交付金を活用して、2月より進めていました、非課税世帯を対象とした「物価高騰対応重点支援金」の給付につきましては、8月末で完了し、総額1,556万円、500世帯への支援を行いました。

また、同じく進めていました「物価高騰対応商品券」事業につきましては、10月末に完了し、利用額1,784万6千円、利用率98.2%となり、町内消費の拡大へとつながりました。

依然として物価高騰の影響が続いており、今後も、国の動向を注視し、必要な対策を進めてまいります。

(物価高騰対応定額減税調整給付金事業に係る不足額給付)

次に、「物価高騰対応定額減税調整給付金」事業に係る不足額給付について申し上げます。

11月末現在で、対象となる303名のうち、97%の方へ支給しております。

つづいて、

「暮らしを支える<sup>なりわい</sup>生業、地域資源を活かした産業が根付くまち」に関する動きについてであります。

(米の作柄)

はじめに、米の作柄について申し上げます。

令和7年産米から取り入れられた、米の作柄を示す作況単収指数は「100」が基準値となり、県は「106」と見込まれます。

本町の作付面積は約92ヘクタールで、昨年度比、約

6ヘクタール減少し、品質につきましては、記録的な猛暑と少雨などの影響により、JA島根おおち川本支店管内の1等米比率は、51.9%で、昨年の77.2%を下回りました。

また、品種別の1等米比率につきましては、「コシヒカリ」が29.2%、出穂が遅い「きぬむすめ」は93.4%となっています。

#### (担い手対策)

次に、担い手対策について申し上げます。

今年度、県立農林大学校に入学された町内在住の就農希望者が、検討されているエゴマを中心とした営農プランを活用し、令和8年に開催される就農相談会への参加を予定しております。

引き続き、新たな担い手の募集活動を進めるため、地域おこし協力隊制度などを活用した支援策を検討してまいります。

#### (特産品の振興)

次に、特産品の振興について申し上げます。

戦略的ブランドであるエゴマにつきましては、11月末現在で、38件、13.7ヘクタールの作付け申請があり、昨年度と比較して、約1ヘクタール減少する見込み

です。

収量につきましては、例年と比較して鳥害は減少しましたが、定植後の水不足による生育遅れから、昨年度並みとなる見込みです。

#### （有害鳥獣対策）

次に、有害鳥獣対策について申し上げます。

現在、サルの群れの計画的な個体数の管理に向けて、昨年度設置した大型捕獲檻に資材を追加し、より大型化するように準備を進めております。

この冬の捕獲に向け、GPS発信機を装着したサルの群れの位置情報を注視しながら、専門業者と連携して大型捕獲檻への促しを進めてまいります。

また、今年8日には、効果的な電気柵の設置方法などの講習会を開催するなど、獣害の防止と軽減を図ってまいります。

#### （観光の振興）

次に、観光の振興について申し上げます。

11月2日に開催された産業祭は、天候にも恵まれ、町内外からの多くの来場者で賑わい、盛況となり、開催にご尽力いただいた実行委員会の皆様をはじめ、各事業所や団体等の皆様に、あらためまして感謝申し上げます。

また、旧 J R 三江線の全線開通 50 周年を記念して、沿線市町で各種イベントが開催されたなか、本町では、観光協会によるレールバイクイベントのほか、8 月 30 日から 11 月 30 日までの間、沿線を巡るスタンプラリーと、思い出フォトコンテストが開催されました。

今後も、近隣市町や観光協会と連携し、鉄道資産を活用した、本町ならではの観光誘客を促進してまいります。

#### (姉妹都市交流)

次に、姉妹都市交流について申し上げます。

11 月 30 日に、姉妹都市である広島県坂町で開催された「坂町・川本町特産品フェア」では、出品したエゴマ、鴨、杵つき餅などを、多くの方々にお買い求めいただき、併せて、町への期待なども寄せられました。

今後も両町の絆をより一層深め、様々な分野での交流を促進してまいります。

#### (宿泊業立地可能性調査)

次に、宿泊業立地可能性調査について申し上げます。

現在、国の第 2 世代交付金を活用し、交流や滞在人口の拡大に伴う、本町への人の往来の受け皿となる、宿泊環境の確保に向けた可能性を調査しております。

先般行われた中間報告をもとに、今後、町内の事業者

等の皆様とともに、宿泊需要に沿った開業モデルプランを考える意見交換会を開催する予定です。

#### (誘致企業との連携)

次に、誘致企業との連携について申し上げます。

9月29日に、県とともに、静岡県富士市の株式会社三協富士見工場を訪問し、石川社長様と今後の連携強化等について意見交換を行いました。

また、11月9日に開催した「一周駅伝競走大会」には、今年も島根川本工場から出場いただき、大会を盛り上げていただきました。

引き続き、県と連携し人材確保を支援していくとともに、石川社長様をはじめ社員の皆様との交流を図ってまいります。

#### ( (仮称) 河津桜公園の整備)

次に、(仮称)河津桜公園の整備について申し上げます。

現在進めております土木工事について、施工内容を一部変更する必要性が生じたことから、必要な議案を今議会に提案しております。

また、財源とする辺地対策事業債の今年度の配分額を踏まえ、建築工事を2か年で施工することとし、11月

末に、今年分の上下水管及び電気布設工事を発注しております。

また、毎年寄贈いただいております河津桜の今後の植栽につきましては、現在整備を進めている（仮称）河津桜公園の近隣を候補地とし、竹木を伐採するために必要な補正予算案を、今議会に提案しております。

つづいて、

「子ども達の夢を育み、挑戦する人材が育つまち」に関する動きについてであります。

（町立学校建設検討委員会）

はじめに、町立学校建設検討委員会について申し上げます。

今年度は、先進地視察や町民アンケートを実施し、基本構想・基本計画の策定に向けた検討を進めており、今後は、計画を進める上で特に重要となる、建設候補地の選定や教室等の必要数など、より具体的な検討を進めてまいります。

また、有利な財源確保に必須となる事前調査の実施に必要な補正予算案を、今議会に提案しております。

## (学校教育)

次に、学校教育について申し上げます。

中学校では9月23日に体育祭が、10月25日に文化祭が、そして小学校では10月5日に運動会が行われ、児童生徒は、それぞれ日頃の活動の成果を発揮し、主体性を持って取り組むことができました。

また、10月1日から2泊3日で、中学2年生が修学旅行で関西方面へ出かけ、特に今年度は「大阪・関西万博」の見学を行い、充実した活動ができました。

部活動においては、各部とも1・2年生主体へと変わるなか、吹奏楽部は、3年生最後の大会として、11月1日に、東京都で開催された日本管楽合奏コンテスト全国大会に出場し、中学校A部門で優秀賞に輝きました。

## (キャリア教育の推進)

次に、キャリア教育の推進について申し上げます。

中学校では、10月1日から3日間にわたり、町内20事業所に協力いただき、3年生が、社会の一員としての自覚を持ち、望ましい社会性や勤労観・職業観を身に付けるための職場体験活動を実施しました。

また、11月12日に実施した、2年生と地域の大人との対話活動「かわもと一く」には、町内在住や在勤の24名の方々に参加いただき、お互いの人生グラフを基

にした対話活動が展開されました。

最初は緊張した様子でしたが、大人のリードで次第に打ち解け、笑顔で対話が進むなど、地域の大人との関わりのなかで自分自身を見つめ、ふるさとへの理解と愛着を深める機会となりました。

(2030国民スポーツ大会に向けた準備)

次に、2030国民スポーツ大会に向けた準備について申し上げます。

町民球場改修事業につきましては、基本計画策定の過程で、国民スポーツ大会開催に必要な改修に加えて、ユニバーサルデザインを意識し、皆様に親しまれ、利用しやすい球場整備を目指し、県や競技関係者と協議し検討を進めてまいりました。

今後、基本計画をもとに行う基本設計にあたり、県の補助金を受けることとなったことから、必要な補正予算案を今議会に提案しております。

(公民館活動)

次に、公民館活動について申し上げます。

9月18日に、今年度3回目となった中央公民館の活動「悠々大学」を開催し、島根気候変動適応センターの方をお迎えし、「気候変動への適応について」と題し、

近年の猛暑や大雨の現状、その適応策などについて、ご講演いただきました。

また、4回目となった10月23日には、体力づくり強調月間に併せ、体力測定を行い、今後も、座学や体験活動を取り入れながら、2月の修了式に向けて活動を進めてまいります。

### (社会体育)

次に、社会体育について申し上げます。

10月11日に、県スポーツ・レクリエーション祭の一環として、かわもとスポーツクラブ主催の「スポレク広場 in かわもとまち」が開催され、80名が参加されました。

また、合併70周年記念事業として、世界を舞台に活躍する浜田市出身のオリンピック選手、三浦龍司さんをお迎えし、11月8日に「子ども陸上教室」を、9日には「一周駅伝競走大会」を開催いたしました。

「子ども陸上教室」には、小学生から高校生までの109名が参加し、トップアスリートとの活動を通じて、スポーツに関心を持つとともに、夢を持つことの素晴らしさを学ぶ絶好の機会となりました。

続く、全21チームにより健脚が競われた「一周駅伝競走大会」では、三浦選手には、沿道に詰めかけた多く

の皆様からの声援のなか、ゲストランナーとして1区を走っていただき、表彰式では、プレゼンターとして大会を盛り上げていただきました。

#### (文化振興)

次に、文化振興について申し上げます。

9月13日に開催した「大衆演劇宝海（たかみ）劇団公演」、続く9月28日に開催された「悠邑神楽フェスタ2025」では、いずれも会場となった悠邑ふるさと会館が、多くの来場者で賑わいました。

11月29日に開催した「とっぽとがーこのコミカルサーカス」では、道化師世界大会で金メダルを獲得した芸人をお迎えしての楽しいパフォーマンスが、子供たちをはじめとする多くの観客を魅了しました。

#### (島根中央高校の魅力化支援)

次に、島根中央高校の魅力化支援について申し上げます。

男子硬式野球部は、9月に行われた秋季高校野球島根県大会の決勝戦で、石見智翠館高校に2対0で勝利し、春・夏・秋を通じて初優勝を果たしました。

駒を進めての、10月に山口県で行われた中国大会では、岡山県の強豪、関西高校と対戦し、4対5で惜しく

も敗れたものの、来年の春季大会、夏の選手権大会に繋がる、大きな飛躍を遂げた大会となりました。

また、11月9日に、春夏通じて7度の甲子園大会優勝を誇る、広島県立広島商業高校を招待して行った、合併70周年記念試合では、随所で全国レベルのプレーが見られました。

吹奏楽部は、11月3日に、東京都で開催された日本管楽合奏コンテストに出場し、大規模校にも劣らない演奏で、優秀賞及び特別賞を獲得しました。

10月20日には、校内に公設民営方式による学習塾を開講しました。

委託先は公募提案方式により、東京や北海道など全国13校で、公設民営学習塾の運営実績がある株式会社Birth47（バース47）に決定し、常駐2名の講師が行う対面授業と映像授業とのハイブリッド学習による、専門性の高い指導を受ける新たな環境が整いました。

引き続き、学校と地域の協働により、島根中央高校の魅力化を支援してまいります。

次に、

「すべての住民が、安心して暮らせるまち」に関する施策についてであります。

### (簡易水道)

はじめに、簡易水道について申し上げます・

10月下旬に、因原地区の水道管布設替工事を発注しております。

### (し尿処理施設「志谷苑」の基幹改良)

次に、し尿処理施設「志谷苑」の基幹改良について申し上げます。

10月上旬から、第2期工事として始まった、施設の水槽の防食工事、施設屋上の防水塗装は、11月末に完了し、今年度に予定された工事はすべて終了しました。

来年度は、受入供給設備、主処理設備、汚泥処理設備等の本格的な工事が計画されています。

つづいて、

「効率的な行財政運営の推進」に関する施策についてであります。

### (ふるさと納税)

はじめに、ふるさと納税について申し上げます。

制度改正により、10月以降、ポータルサイトのポイント還元が廃止される影響などから、9月の寄附額が増加し、10月末時点では、前年同期と比べて81.4%増、

1,385万6千円となっております。

また、例年12月は、全国的に寄附額が増加する傾向にあることから、町の魅力を発信し、より多くの方々からの応援を得られるよう取り組んでまいります。

#### (広聴・広報)

次に、広聴・広報について申し上げます。

9月18日に悠邑ふるさと会館で開催した、今年度2回目の「まちづくり意見交換会」には、約30名の参加があり、「ファミリーサポートセンター事業」「子育て支援」などのテーマに対し貴重なご意見をいただきました。

3回目の「まちづくり意見交換会」は、町立学校建設検討委員会における検討状況を主なテーマとして、12月20日に予定しており、引き続き多くの皆様からのご意見をお聴きする環境づくりに取り組んでまいります。

#### (地域情報化対策)

次に、地域情報化対策について申し上げます。

「IP告知システムの廃止」につきましては、これまで、様々な媒体を通じて町民の皆様にご広報してまいりましたが、予定通り9月末をもってシステムの運用を終了しました。

現在、不用となった機器の回収を行っており、代替と

なる防災行政無線の一部の不具合解消に向けましては、交換等の対応を行っております。

また、「まげなねっとかわもと」の受信に必要な加入者用機器「VONU」の更新については、地区毎に計画的に進めることとし、今年度は、11月1日以降、川本地区を対象に工事を行っております。

引き続き、様々な機会を通じて、町民の皆様に周知してまいります。

(自治体情報システムの標準化・共通化への対応)

次に、自治体情報システムの標準化・共通化への対応について申し上げます。

邑智郡総合事務組合と協働し、取り組んでいる「自治体情報システムの標準化・共通化」につきましましては、11月25日より国民健康保険システムの標準化が完了し、その他の業務については、来年2月に移行できるよう準備を進めております。

また、移行後の運用経費が想定以上に膨らむ課題への対応については、10月20日に行った県への重点要望に盛り込み、引き続き、県や県町村会などと連携し、国への要望を行ってまいります。

### (職員研修)

次に、職員研修について申し上げます。

今年度から、人材育成の多様なプログラムを実施する専門機関である、一般財団法人地域活性化センターの協力を得て、係長や主任を対象に、全5回の「政策立案研修」を実施し、企画・立案スキルを学びました。

また、昨年度に引き続き、課長補佐以下の職員を対象に「業務改善研修」を行い、スケジュール管理など業務を進める際の留意点を確認し合いました。

### (提出議案等)

今定例会に提案しました案件は、条例案件8件、予算案件3件、その他案件3件であります。

後ほど、担当課長から、これらの説明をさせますので、何卒よろしくご審議のほど、お願い申し上げまして、行政報告とさせていただきます。